

高度な技術でディスプレイを開発・販売 現地と強く連携した海外販売を展開中

各分野の生産工程で使われる高度なディスプレイを開発・販売。海外販売の実績もあり、現地との連携を重視するモデルで販路拡大。

所在地：大阪府守口市大日町 2-18-1

TEL 06-6905-1391

FAX 06-0905-3322

URL：<http://www.nlc-dis.co.jp/>

代表取締役社長 仲 昌男

設立：1981年(昭和56年)

従業員数：74名

資本金：2,000万円



高度な技術で各種部品の生産工程で使用されるディスプレイを販売、海外にも展開

精密電子部品、自動車部品、家電製品、住宅建材品、航空機部品など、各種分野の生産工程に幅広く応用される、ディスプレイ（液体定量吐出装置）装置及び部品の開発、製造、販売を行っている。同社は様々な特性（粘度・比重・温度）を持つ液体を、独自開発した容積計量方式ポンプにより正確に計量・混合し、吐出する他社にない技術を有している。

2003年以降中国、シンガポール、タイに現地法人を設立して海外展開を実施、海外研修生受入れ、現地法人の幹部候補生養成等の取組は、中小企業の海外進出のモデルケースになる。



2液型ディスプレイ
ツインフローVR構造図

他企業との連携で業務を推進、海外法人は現地国籍の人材で運営

同社は、自社にない経営資源を外部との連携により効果的に調達している。化学メーカーが開発する樹脂対応のディスプレイにおいては、化学メーカーにより樹脂及びディスプレイの販売活動を行うほか、海外では現地法人に加え、保守業務を行う企業との連携を実施している。

また、現地国籍を有する人材による会社運営の重要性に着目しているが、今年から中国国籍の人材を中国現地法人の社長に据えている。



2液型
ディスプレイ
カップ-5

海外の販売先は日系企業でなく現地企業が中心

中国国内で、同社の提供するディスプレイは、現地の日系企業にも提供しているがその割合は2割程度である。自社で生産、開発拠点を有しており、現地ローカルメーカーの要望に応じて開発を行っているほか、保守業務等について日特エンジニアリング社との業務提携により、体制を強化して対応しており、日系企業に依存することなく、現地ローカル企業或いは欧米系現地法人に対するシェア拡大を図っている。

